

日米両政府は辺野古新基地建設断念を 沖縄県知事選挙の結果について（談話）

2014年11月17日

安保破棄中央実行委員会

事務局長 東森英男

16日におこなわれた沖縄県知事選挙で、「辺野古に新しい基地は造らせない」など「建白書」の実現を掲げてたたかった翁長雄志さんが、現職知事に大差をつけて当選しました。

この勝利は、保守・革新を超えて団結した「オール沖縄」の歴史的勝利であり、「基地のない沖縄」への第1歩となるものです。そして同時に今回の勝利は、県民の意思を乱暴に蹂躪して新たな基地を押し付け、「戦争国家」づくりをすすめる安倍内閣に対する明確な審判です。

県知事選挙と同時ににおこなわれた那覇市長選で城間幹子さんが勝利するとともに、統一候補として県議補欠選挙をたたかった比嘉瑞己さん（那覇市区）、具志堅徹さん（名護市区）が当選をかちとったことは重要な成果です。

翁長雄志知事誕生をはじめとする一連の選挙での勝利のために昼夜を分かたず奮闘された沖縄のみなさんと、支援の取り組みに奮闘された全国のみなさんに敬意を表するとともに、勝利をともに喜び合いたいと思います。

私たちは、安倍政権が今回の選挙結果をふまえ、辺野古新基地建設を断念し、普天間基地の即時閉鎖、撤去を求める立場で対米交渉をおこなうことを強く求めます。

私たちは、「手段を尽くして辺野古新基地を阻止する」と明言している翁長新知事を支え、全国で新基地建設を許さないたたかいを大きく広げることを呼びかけます。

そして、安倍政権が解散・総選挙で政治的延命をはかることを断じて許さず、総選挙で憲法を守り生かし、安保条約廃棄をすすめる政治勢力の前進のために奮闘する決意を表明するものです。

以上